

沖縄中部病院における慢性呼吸、循環不全 児の在宅管理の実状

沖縄県立中部病院小児科

我那覇 仁

NICU退院児のホームケアシステムに関する研究の中で沖縄県立中部病院における慢性呼吸循環不全児の在宅管理の実状に関するレポートを行う事になりましたが、今回はまず現状の分析として最近2～3年にNICUに長期入院を要した慢性呼吸循環不全児の実状について報告します。

沖縄県立中部病院NICUは昭和53年8月に沖縄県初のNICUとして開設され現在に至っています。入院患児は近年増加傾向にあり昭和61年には342例の新生児が入院しました。当院での分娩数は年間約1000例ありますがNICUへの入院患者は院外出生児が約半数をしめます。NICU開設と同時に新生児、特に極小未熟児の入院も急速に増加しました。昭和60～61年の極小未熟児の入院数は118人で全体の18%をしめます。極小未熟児の救命率はNICUの開設により大きな違いがみられ開設前の死亡率51.5%に対し最近3ヶ年では17.6%と著しい改善がみられます。

NICUの充実による新生児死亡率の改善は特に極小未熟児の救命率の向上をもたらす反面これらの患児の長期人工呼吸に伴う合併症が増加したことも事実です。特にBPD、慢性未熟肺不全症、Wilson-Mikity症候群に代表される慢性肺疾患の増加が長期入院を予義なくされ、また退院後も呼吸器感染症で入退院をくり返しているのが現状です。昭和60～61年の2ヶ年間に4週以上の長期酸素投与及び胸部X線で肺気腫様の変化がみられた慢性肺疾患は21例ありました(表1)。男児15人、女児6人で男児に多くみられます。全例出生体重が1500g未満の極小未熟児でした。出生体重が750～1249g未満の児に集積し全体の80%をしめています。これは750g未満の新生児は予後不良で1250g以上は比較的慢性肺疾患の発生が少ないこ

とを示し、750～1250g未満の新生児の救命率が向上したことに伴いこれらの児に呼吸器合併症が増加していることが示唆されます。平均入院日数は95日でこれは全体の平均入院日数の約4倍に相当します。最も長期間入院した患児は204日です。人工換気日数は最長78日、平均33日で酸素療法は平均72日でした。入院が長期化する原因として敗血症、頭蓋内出血、無呼吸、PDA等の合併症が考えられます。

先天性心疾患についてみますと過去2ヶ年間に79例ありました(表2)。14例が死亡しHLHSは予後不良です。症候性PDAが低出生体重児の増加に伴い最も多く、この内2例に結紮術を行っています。これら心疾患児は退院後も注意深く経過観察を行う事が大切です。特に乳児期に問題になるものはうっ血性心不全と低酸素発作の2点です。1～2ヶ月毎の経過観察が必要で体重増加の有無が最も良い心不全のコントロールの目安になります。内科的治療に抵抗性の症例は早期外科的治療が必要です。

現在我々の施設では在宅酸素療法はまだ行っておりませんが近い将来長期入院患児に対し家庭酸素療法の必要性が予想されます。

最近経験した慢性呼吸循環不全の症例を①～⑤に示します(表3)。BPD、抜去困難症、胃食逆流現象による嚥下性肺炎、Ondine's Curse、肺高血圧症、無酸素発作等で長期入院を要している症例です。NICU退院後の慢性肺疾患児は乳児期に喘鳴を主訴にする呼吸器感染症が主ですが、前述した症例は在宅管理が可能な疾患であり、このような疾患も今後増加することが考えられます。家族、患児の精神的な面からみても在宅療法は好ましく、慢性呼吸、循環不全児の退院基準及び家庭

酸素療法のプロトコルを確立することがNICU
退院児の長期的なケアに今後特に必要な事と思わ
れます。

表1.

慢性肺疾患 (昭和60~61年)

出生体重 (g)	入院数	平均入院 日数	平均人工 換気日数	平均酸素 投与日数	平均退院 時体重 (g)
500-749	2 (1)	80	36	61	* 3414
750-999	7	106	53	84	2526
1000-1249	10	123	36	88	3167
1250-1499	2	69	9	55	2913
計	21 (1)	95	34	72	3005

() 死亡 * 死亡例を除く

表2.

先天性心疾患 (昭和60~61年)

症例数 79 (14)

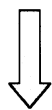
PDA	35 (1)	Asplenia	2 (1)
VSD	10 (1)	Truncus A.	1 (1)
TOF	8 (1)	Ebstein's A.	1 (1)
HLHS	5 (5)	PA	1
TGA	4	DORV	1
ASD	4	SV	1
TAPVD	3 (2)	Coronary A. fistula	1
TA	2 (1)		

() 死亡数

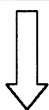
表3.

主な慢性呼吸循環器疾患

症例	年齢	出生体重 (g)	原疾患	合併症	入院期間
①	1才11カ月	1116	RDS	BPD PDA	7カ月
②	2才3カ月	586	RDS	BPD 抜去困難症 胃食道逆流 CP	2年3カ月
③	2才2カ月	3256	Entire colon aganglionosis Ondine's curse	無呼吸	2年3カ月
④	1才4カ月	3050	Down syndrome	Obstructive sleep apnea 肺高血圧症	1カ月
⑤	1才	1224	RDS TOF	無酸素発作 胃食道逆流 CP	1年



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



NICU 退院児のホームケアシステムに関する研究の中で沖縄県立中部病院における慢性呼吸循環不全児の在宅管理の実状に関するレポートを行う事になりましたが、今回はまず現状の分析として最近2~3年にNICUに長期入院を要した慢性呼吸循環不全児の実状について報告します。